

運用報告書 (全体版)

第4期<決算日2022年10月12日>

One NYダウ・インデックス・ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式 (インデックス型)
信託期間	2019年5月29日から無期限です。
運用方針	ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース、為替ヘッジなし) の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
主要投資対象	One NYダウ・インデックス・マザーファンド NYダウ・インデックス・マザーファンド NYダウ・インデックス・マザーファンド 米国の金融商品取引所に上場する株式を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。マザーファンドにおいては、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース、為替ヘッジなし) への運動性を高めるため、上場投資信託証券に投資を行う場合があります。また、有価証券先物取引等を活用する場合があります。
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。株式への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日 (原則として10月12日。休業日の場合は翌営業日。) に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益 (マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額 (以下「みなし配当等収益」といいます。)) を含みます。) および売買益 (評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額) 等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「One NYダウ・インデックス・ファンド」は、2022年10月12日に第4期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

One NYダウ・インデックス・ファンド

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ工業株価平均		株式組入比率	株式先物比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	期中 騰落率				
(設定日) 2019年5月29日	円	円	%	ポイント (5月28日)	%	%	%	%	百万円
	10,000	—	—	2,803,424.39	—	—	—	—	1
1期 (2019年10月15日)	10,591	0	5.9	2,904,285.13	3.6	92.9	—	7.7	3,274
2期 (2020年10月12日)	11,172	0	5.5	3,020,492.32	4.0	96.1	3.6	—	15,946
3期 (2021年10月12日)	14,622	0	30.9	3,915,302.88	29.6	95.6	4.3	—	25,710
4期 (2022年10月12日)	16,137	0	10.4	4,274,769.62	9.2	98.2	2.1	—	36,926

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注4) ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）であり、算出にあたっては基準価額への反映を考慮した日の米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています（以下同じ）。

(注5) ダウ・ジョーンズ工業株価平均は、S&P Globalの一部門であるS & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社（「SPDJ I」）の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS & P®は、S&P Globalの一部門であるスタンダード・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズLLC（「S & P」）の登録商標で、Dow Jones®は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLC（「Dow Jones」）の登録商標です。本商品は、SPDJ I、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません（以下同じ）。

(注6) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基準価額		ダウ・ジョーンズ 工業株価平均 (円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)		株式組入 率	株式先物 率	投資信託 受益証券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率			
(期首) 2021年10月12日	円	%	ポイント	%	%	%	%
10月12日	14,622	—	3,915,302.88	—	95.6	4.3	—
10月末	15,168	3.7	4,061,483.66	3.7	96.5	3.5	—
11月末	14,943	2.2	3,997,416.46	2.1	96.9	3.4	—
12月末	15,705	7.4	4,196,922.56	7.2	95.6	4.4	—
2022年1月末	15,002	2.6	4,008,708.52	2.4	96.9	3.1	—
2月末	14,749	0.9	3,935,488.66	0.5	96.7	3.8	—
3月末	16,176	10.6	4,311,653.91	10.1	96.9	3.0	—
4月末	16,104	10.1	4,291,287.17	9.6	96.2	3.9	—
5月末	16,004	9.5	4,258,233.39	8.8	96.8	3.2	—
6月末	15,958	9.1	4,241,085.70	8.3	95.9	4.1	—
7月末	16,481	12.7	4,378,813.25	11.8	96.6	3.3	—
8月末	16,613	13.6	4,407,168.26	12.6	97.4	2.9	—
9月末	15,973	9.2	4,232,161.06	8.1	97.8	2.4	—
(期末) 2022年10月12日	16,137	10.4	4,274,769.62	9.2	98.2	2.1	—

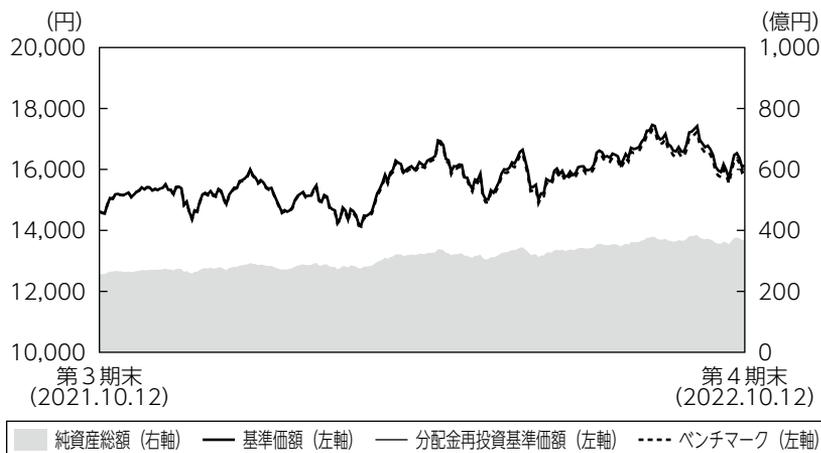
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

基準価額等の推移



第4期首：14,622円
第4期末：16,137円
(既払分配金0円)
騰落率：10.4%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

インフレ高進に伴う金融引き締め政策の加速などが嫌気され株式市場は下落したものの、為替市場で大きく米ドル高円安が進んだことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

投資環境

米国株式市場は下落しました。期初こそ良好な企業決算を受けて上昇しましたが、F R B（米連邦準備理事会）の金融引き締め観測を受けて不安定な値動きとなりました。2022年以降はF R Bの大幅利上げに伴う景気減速懸念から下落基調となりました。

為替市場では、米ドルは期初から2022年3月頃まではF R Bの利上げ観測による米ドル高圧力と新型コロナウイルスオミクロン株、ウクライナ情勢への懸念が交錯し、円に対して概ね横ばいの推移となりました。その後は金融引き締めを急ぐ米国と緩和を維持する日本の金融政策の違いを背景に、急速に円安米ドル高が進みました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

NYダウ・インデックス・マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持するよう運用しました。

●NYダウ・インデックス・マザーファンド

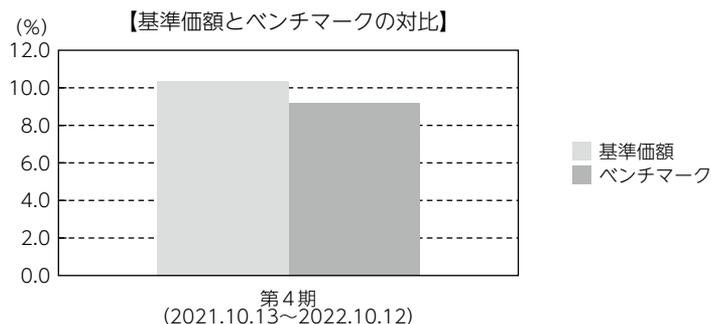
ベンチマークであるダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

※運用状況については14ページをご参照ください。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で9.2%上昇しました。

当ファンドはベンチマーク比で+1.2%となりました。ファンドとベンチマークの差の要因としては、当ファンドに組入れているマザーファンドには保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないことなどがあげられます。



(注) 基準価額の騰落率は配当金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2021年10月13日 ～2022年10月12日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	6,136円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、NYダウ・インデックス・マザーファンドの組入比率を高位に維持します。

●NYダウ・インデックス・マザーファンド

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第4期		項目の概要
	(2021年10月13日 ～2022年10月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	104円	0.660%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,728円です。
(投信会社)	(49)	(0.313)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(49)	(0.313)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.004	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(0)	(0.003)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.014	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.011)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	107	0.678	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

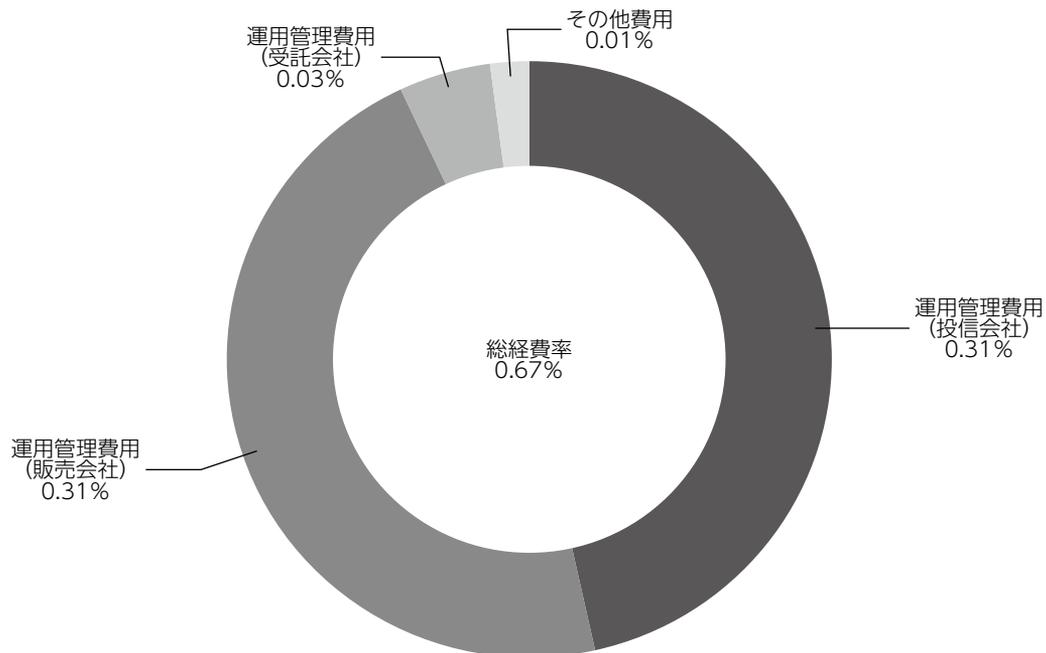
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.67%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
NYダウ・インデックス・マザーファンド	千口 4,715,045	千円 9,373,451	千口 639,082	千円 1,276,155

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	NYダウ・インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	12,549,590千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	37,571,655千円
(c) 売買高比率 (a)/(b)	0.33

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

【One NYダウ・インデックス・ファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.010	百万円 0.010	% 100.0	百万円 0.010	百万円 0.010	% 100.0

【NYダウ・インデックス・マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.003	百万円 0.003	% 100.0	百万円 0.003	百万円 0.003	% 100.0

平均保有割合 80.8%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ信託銀行です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期首 (前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
NYダウ・インデックス・マザーファンド	千□ 13,921,227	千□ 17,997,191	千円 36,924,836

■投資信託財産の構成

2022年10月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
NYダウ・インデックス・マザーファンド	36,924,836	99.7
コール・ローン等、その他	129,080	0.3
投資信託財産総額	37,053,917	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2022年10月12日現在、NYダウ・インデックス・マザーファンドは46,080,820千円、97.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年10月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=146.20円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年10月12日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	37,053,917,301円
コール・ローン等	129,080,527
NYダウ・インデックス・マザーファンド(評価額)	36,924,836,774
(B) 負 債	127,084,887
未払解約金	12,533,164
未払信託報酬	114,071,154
その他未払費用	480,569
(C) 純資産総額(A-B)	36,926,832,414
元 本	22,883,895,610
次期繰越損益金	14,042,936,804
(D) 受益権総口数	22,883,895,610口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,137円

(注) 期首における元本額は17,584,101,396円、当期中における追加設定元本額は8,944,733,119円、同解約元本額は3,644,938,905円です。

■損益の状況

当期 自2021年10月13日 至2022年10月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△23,511円
受 取 利 息	1,899
支 払 利 息	△25,410
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,735,784,067
売 買 損 益	3,121,832,812
買 買 損 益	△386,048,745
(C) 信 託 報 酬 等	△207,669,937
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	2,528,090,619
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	4,718,273,450
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	6,796,572,735
(配 当 等 相 当 額)	(4,166,763,441)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,629,809,294)
(G) 合 計(D+E+F)	14,042,936,804
次 期 繰 越 損 益 金(G)	14,042,936,804
追 加 信 託 差 損 益 金	6,796,572,735
(配 当 等 相 当 額)	(4,187,426,834)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,609,145,901)
分 配 準 備 積 立 金	7,246,364,069

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	515,015,265円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,013,075,354
(c) 収 益 調 整 金	6,796,572,735
(d) 分 配 準 備 積 立 金	4,718,273,450
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	14,042,936,804
(f) 1万口当たり当期分配対象額	6,136.60
(g) 分 配 金	0
(h) 1万口当たり分配金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。

NYダウ・インデックス・マザーファンド

運用報告書

第6期（決算日 2022年10月12日）

（計算期間 2021年10月13日～2022年10月12日）

NYダウ・インデックス・マザーファンドの第6期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2017年3月21日から無期限です。
運用方針	ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
主要投資対象	米国の金融商品取引所に上場する株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均		株式組入率	株式先物率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	期中騰落率	期中騰落率	(円換算ベース、為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	期中騰落率				
2期(2018年10月12日)	円	%	ポイント	%	%	%	%	百万円
2期(2018年10月12日)	12,516	11.2	2,810,677.45	9.3	92.8	—	8.3	1,253
3期(2019年10月15日)	13,202	5.5	2,904,285.13	3.3	92.9	—	7.7	5,014
4期(2020年10月12日)	14,017	6.2	3,020,492.32	4.0	96.1	3.6	—	19,723
5期(2021年10月12日)	18,468	31.8	3,915,302.88	29.6	95.6	4.3	—	31,150
6期(2022年10月12日)	20,517	11.1	4,274,769.62	9.2	98.2	2.1	—	46,144

(注1) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）です。なお、算出にあたっては基準価額への反映を考慮した日の米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています（以下同じ）。

(注3) ダウ・ジョーンズ工業株価平均は、S&P Globalの一部門であるS & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS & P®は、S&P Globalの一部門であるスタンダード・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズLLC（「S & P」）の登録商標で、Dow Jones®は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLC（「Dow Jones」）の登録商標です。本商品は、SPDJ、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません（以下同じ）。

(注4) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

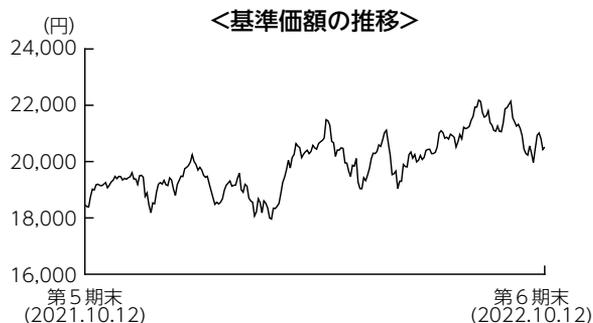
■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョーンズ 工 業 株 価 平 均		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率		(円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	騰 落 率			
(期 首) 2021年10月12日	円 18,468	% -	ポイント 3,915,302.88	% -	% 95.6	% 4.3	% -
10 月 末	19,164	3.8	4,061,483.66	3.7	96.5	3.5	-
11 月 末	18,891	2.3	3,997,416.46	2.1	96.9	3.4	-
12 月 末	19,865	7.6	4,196,922.56	7.2	95.6	4.4	-
2022年1 月 末	18,986	2.8	4,008,708.52	2.4	96.9	3.1	-
2 月 末	18,676	1.1	3,935,488.66	0.5	96.7	3.8	-
3 月 末	20,495	11.0	4,311,653.91	10.1	96.9	3.0	-
4 月 末	20,413	10.5	4,291,287.17	9.6	96.2	3.9	-
5 月 末	20,299	9.9	4,258,233.39	8.8	96.8	3.2	-
6 月 末	20,252	9.7	4,241,085.70	8.3	95.9	4.1	-
7 月 末	20,927	13.3	4,378,813.25	11.8	96.6	3.3	-
8 月 末	21,107	14.3	4,407,168.26	12.6	97.4	2.9	-
9 月 末	20,305	9.9	4,232,161.06	8.1	97.8	2.4	-
(期 末) 2022年10月12日	20,517	11.1	4,274,769.62	9.2	98.2	2.1	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

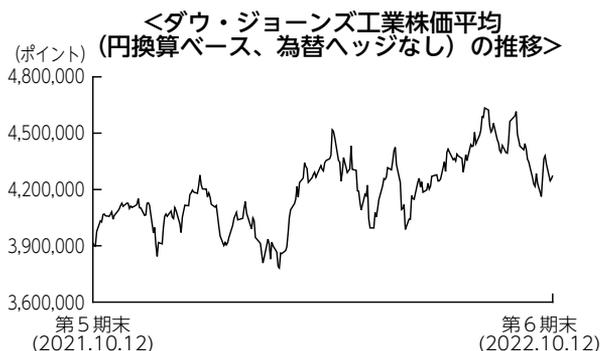


基準価額の推移

当期末の基準価額は20,517円となり、前期末比で11.1%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

インフレ高進に伴う金融引き締め政策の加速などが嫌気され株式市場は下落したものの、為替市場で大きく米ドル高円安が進んだことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。



投資環境

米国株式市場は下落しました。期初こそ良好な企業決算を受けて上昇しましたが、F R B（米連邦準備理事会）の金融引き締め観測を受けて不安定な値動きとなりました。2022年以降はF R Bの大幅利上げに伴う景気減速懸念から下落基調となりました。

為替市場では、米ドルは期初から2022年3月頃まではF R Bの利上げ観測による米ドル高圧力と新型コロナウイルスオミクロン株、ウクライナ情勢への懸念が交錯し、円に対して概ね横ばいの推移となりました。その後は金融引き締めを急ぐ米国と緩和を維持する日本の金融政策の違いを背景に、急速に円安米ドル高が進みました。

ポートフォリオについて

ベンチマークであるダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

【運用状況】

○組入上位10業種

期首（前期末）

No.	業種	組入比率
1	ソフトウェア・サービス	17.1%
2	資本財	14.8
3	各種金融	10.2
4	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.2
5	ヘルスケア機器・サービス	7.4
6	小売	6.2
7	消費者サービス	4.5
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.6
9	食品・生活必需品小売り	3.4
10	メディア・娯楽	3.2

期末

No.	業種	組入比率
1	ソフトウェア・サービス	14.7%
2	資本財	13.1
3	ヘルスケア機器・サービス	11.1
4	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	11.1
5	各種金融	9.6
6	小売	6.3
7	消費者サービス	5.2
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.0
9	食品・生活必需品小売り	3.7
10	保険	3.5



（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）業種は各決算日時点でのGICS（世界産業分類基準）によるものです。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で9.2%上昇しました。

当ファンドはベンチマーク比で+1.9%となりました。ファンドとベンチマークの差の要因としては、当ファンドでは保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないことなどがあげられます。

今後の運用方針

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式) (先物・オプション)	1円 (1) (0)	0.004% (0.003) (0.001)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.011 (0.011) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	3	0.015	
期中の平均基準価額は19,933円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2021年10月13日から2022年10月12日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ア メ リ カ	百株 5,933.4 (100.2)	千アメリカ・ドル 97,894 (-)	百株 100.2	千アメリカ・ドル 228

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は、株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	株 式 先 物 取 引	百万円 18,390	百万円 18,841	百万円 -	百万円 -

(注) 金額は受渡代金です。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	12,549,590千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	37,571,655千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.33

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等 (2021年10月13日から2022年10月12日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.003	百万円 0.003	% 100.0	百万円 0.003	百万円 0.003	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ信託銀行です。

■組入資産の明細

(1) 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
INTL BUSINESS MACHINES CORP	501	698.78	8,231	1,203,464	情報技術サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	501	698.78	12,132	1,773,730	コンピュータ・周辺機器
AMGEN INC	501	698.78	17,150	2,507,455	バイオテクノロジー
AMERICAN EXPRESS CO	501	698.78	9,597	1,403,190	消費者金融
APPLE INC	501	698.78	9,711	1,419,842	コンピュータ・周辺機器
VERIZON COMM INC	501	698.78	2,511	367,168	各種電気通信サービス
BOEING CO	501	698.78	9,193	1,344,140	航空宇宙・防衛
CATERPILLAR INC	501	698.78	12,560	1,836,355	機械
JPMORGAN CHASE & CO	501	698.78	7,124	1,041,640	銀行
CISCO SYSTEMS INC	501	698.78	2,765	404,355	通信機器
COCA-COLA CO/THE	501	698.78	3,806	556,576	飲料
THE WALT DISNEY CO	501	698.78	6,505	951,124	娯楽
SALESFORCE INC	501	698.78	9,962	1,456,518	ソフトウェア
GOLDMAN SACHS GROUP INC	501	698.78	20,558	3,005,697	資本市場
HOME DEPOT INC	501	698.78	19,767	2,890,050	専門小売り
INTEL CORP	501	698.78	1,749	255,812	半導体・半導体製造装置
JOHNSON & JOHNSON	501	698.78	11,371	1,662,476	医薬品
MCDONALD'S CORPORATION	501	698.78	16,564	2,421,741	ホテル・レストラン・レジャー
MERCK & CO.INC.	501	698.78	6,362	930,181	医薬品
MICROSOFT CORP	501	698.78	15,751	2,302,825	ソフトウェア
3M CO	501	698.78	7,605	1,111,927	コンピュータ・周辺機器
NIKE INC-CL B	501	698.78	6,148	898,920	繊維・アパレル・贅沢品
PROCTER & GAMBLE CO	501	698.78	8,680	1,269,154	家庭用品
THE TRAVELERS COMPANIES INC	501	698.78	11,142	1,629,069	保険
CHEVRON CORP	501	698.78	10,982	1,605,674	石油・ガス・消耗燃料
UNITEDHEALTH GROUP INC	501	698.78	34,925	5,106,140	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	501	698.78	2,278	333,149	食品・生活必需品小売り
WALMART INC	501	698.78	9,270	1,355,378	食品・生活必需品小売り
VISA INC	501	698.78	12,517	1,830,123	情報技術サービス
DOW INC	501	698.78	3,071	449,000	化学
合 計	株 数 銘 柄	株 数 30銘柄	310,006	45,322,886	<98.2%>
	・ 金 額 数<比 率>	20,963.4	310,006	45,322,886	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	別	当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
外国	D J I A M I N I E - C B O T	百万円 962	百万円 -

(注) 外貨建の評価額は、期末の時価を期末の仲値により、邦貨換算したものです。

■投資信託財産の構成

2022年10月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	45,322,886	96.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,737,212	3.7
投 資 信 託 財 産 総 額	47,060,098	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、46,080,820千円、97.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年10月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=146.20円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年10月12日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	47,237,262,036円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,204,019,065
株 式(評価額)	45,322,886,033
未 収 入 金	181,108,562
未 収 配 当 金	18,314,841
差 入 委 託 証 拠 金	510,933,535
(B) 負 債	1,092,952,605
未 払 金	1,092,952,605
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	46,144,309,431
元 本	22,490,816,252
次 期 繰 越 損 益 金	23,653,493,179
(D) 受 益 権 総 口 数	22,490,816,252口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,517円

(注1) 期首元本額 16,867,094,546円
追加設定元本額 6,784,759,194円
一部解約元本額 1,161,037,488円

(注2) 期末における元本の内訳
たわらノーロード NYダウ 4,493,625,252円
One NYダウ・インデックス・ファンド 17,997,191,000円
期末元本合計 22,490,816,252円

■損益の状況

当期 自2021年10月13日 至2022年10月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	788,129,092円
受 取 配 当 金	782,134,501
受 取 利 息	3,319,777
そ の 他 収 益 金	2,696,282
支 払 利 息	△21,468
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	3,392,608,072
売 買 益	12,273,112,221
売 買 損	△8,880,504,149
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	△275,388,133
取 引 益	343,479,352
取 引 損	△618,867,485
(D) そ の 他 費 用	△4,258,758
(E) 当 期 損 益 金(A+B+C+D)	3,901,090,273
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	14,283,834,612
(G) 解 約 差 損 益 金	△1,195,847,512
(H) 追 加 信 託 差 損 益 金	6,664,415,806
(I) 合 計(E+F+G+H)	23,653,493,179
次 期 繰 越 損 益 金(I)	23,653,493,179

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (H)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。